

## 地域医療連携センターニュース

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

発行 地域医療連携センター

電話 042-558-0321(代表)

FAX 042-550-5190(直通)

### 外科のご紹介

外科医長 仁科 有美子

公立阿伎留医療センター外科では、腹部消化器疾患に対する診療を中心に、具体的には鼠径ヘルニア、胆石症、虫垂炎、腸閉塞症などの良性疾患に対する手術加療と、悪性疾患では主に大腸癌、胃癌に対する手術、化学療法、緩和治療等を行っております。

月曜から金曜までの午前の外来と、午後は週4日間手術を行っており、手術を担当するのは常勤医3名(うち1名は大学病院より派遣されている若手小児外科医)で、10年ほど前と比較するとスタッフ数は少なくなっています。

令和3年度の手術件数は、コロナ禍での病棟閉鎖などの影響を受けて例年よりもやや減少しており年間235件、うち悪性疾患は約60件、腹腔鏡下手術は約80件です。なお以前は乳腺疾患も当科で診療を行っていましたが、現在は乳腺外科として単一の診療科を設け、乳癌等に関する検診や手術、化学療法等は乳腺外科が担当しています。

当科について何点かご紹介させていただきます。

まず、当科では十分なインフォームドコンセントと、患者さんやご家族様に寄り添った診療を心がけており、それが科としての大きな特徴と考えています。特に、切除不能進行再発癌に対しての化学療法や緩和治療は、手術から継続して同じ医師が担当し、最終的に緩和治療科への転床で主治医がバトンタッチとなる場合もありますが、お看取りまでを当科で担当することも多々あり、型にはまった診療ではなく患者様個人の生き方を中心に考えた治療方針を立てることに尽力しています。

この体制は患者さんやご家族様から高い満足度を得ており、今後も継続していく所存です。しかし実際には頻回のインフォームドコンセントを含め、一人ひとりの患者さんへの診療に長時間を要し、さらにスタッフ人数の減少も重なって個々の医師の担当する患者数が年々増加しており、医師の負担が増しているのが現状です。スタッフの増員が望まれるところです。

なお癌化学療法については、新しい分子標的薬を含んだレジメンの導入、遺伝子パネル検査等最新の治療の紹介対応なども積極的に行い、安心の治療を心がけております。

腹腔鏡下手術に関しては、虫垂や胆嚢等良性疾患に対する手術のほか、結腸癌、直腸癌のほぼ全例と、胃癌のcStage I症例かつ幽門側胃切除術を予定している症例に対して適応としております。胃癌に関しては適応を絞っておりますので、リンパ節転移が疑われる進行癌症例や、胃全摘症例で腹腔鏡手術を望まれる方は他院へのご紹介をさせていただいております。(➡裏面に続く)

また昨今は術後早期退院が推奨される傾向にありますが、当科では大腸癌や胃癌の術後は開腹か腹腔鏡かに関わらずやや長めの14日間の入院期間を基準としております。高齢化に伴いご入院される患者様の平均年齢は次第に高くなっており、85歳以上の高齢手術患者様も珍しくありません。リハビリが必要な患者さんには包括病棟を経由しての退院も随時行っております。

また、直腸癌診療において、術前放射線化学療法(CRT)の適応となる患者様には全例CRTを行っていましたが、残念ながら当院は令和4年3月をもって放射線治療が終了となりましたので、他院へのご紹介を検討せざるを得ない状況となっております。放射線治療の連携について、ご協力いただいている近隣病院様にはご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

当科の現状を簡単にお伝えいたしました。

今後も地域医療に貢献できるよう努力してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 【外科 外来担当医表】

月	火	水	木	金
遠藤 和伸	矢嶋 幸浩	矢嶋 幸浩	矢嶋 幸浩 (予約のみ)	矢嶋 幸浩
仁科 有美子	水野 歩実	遠藤 和伸 (予約のみ)	遠藤 和伸	遠藤 和伸 (予約のみ)
		仁科 有美子	仁科 有美子	仁科 有美子 (予約のみ)

### AKINET（秋川流域感染対策ネットワーク）について

当院では秋川流域の療養型病院、介護老人保健施設・福祉施設、訪問看護ステーションの皆様と感染症に関する知識向上や連携強化のため、AKINET(秋川流域感染対策ネットワーク)を設置し、研修会の開催や施設訪問を行っており、特に一昨年からは新型コロナウイルス感染症に関連した情報共有を強化して参りました。



現在では40以上の施設がご登録され、また構成市町村(あきる野市、日の出町、檜原村)の主管課にもご参加いただいております。

令和4年9月6日(火)に令和4年度第2回のAKINET ラウンド(相互チェック)を行うため、当院、大久野病院、あきる台病院の感染管理担当者が日の出ヶ丘病院を訪問させていただきました。

(⇒次ページに続く)

また、その振り返りを含めた運営会議(WEB 会議)を9月 20 日(火)に開催しました。日の出ヶ丘病院、あきる台病院、大久野病院、当院関係者のほかあきる野市健康課、日の出町いきいき健康課にもご参加いただきました。

そのほかの主な内容としては、全施設を対象に開催された7月20日の阿伎留医療・介護アカデミー(研修)の報告、当院感染管理室への相談と内容、オミクロン株の最新情報をご報告いたしました。

当院感染管理室への相談として新型コロナウイルス感染拡大の中、特養や老健など高齢者施設の方から、「同フロアから陽性者が出ているが、受診可能か」「陽性判明後何日経過すれば、外来受診可能か」などが寄せられました。

また、あきる野市健康課長と日の出町いきいき健康課長から新型コロナウイルス感染状況とワクチン接種状況等についてご報告がありました。

今年度下半期も引き続きお互いの病院のラウンド、相互評価を含めた連携強化に努めてまいりたいと思います。

## 健康出前講座についてのご報告

公立阿伎留医療センターでは、地域の皆さんに健康や医療に対する知識、関心を高めていただくことを目的に、自治会や施設に講師を派遣する健康出前講座を開催しています。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大後は WEB 研修がメインになり、一般の方々にお集まりいただく形式での開催が難しい状況となっております。

比較的感染状況が落ち着いていた7月1日にあきる野市立増戸中学校1年生を対象とした「薬物使用の恐ろしさとその防止について」をテーマに薬剤科宮城主任が講演を行いました。

特に最近10代の中でも問題になっているエナジードリンク(カフェイン)の過剰摂取を取り上げ、その危険性や医薬品としても使用されているカフェインの必要性などについて、説明しました。

中学1年生にとっては、多少難しい内容が含まれていたかもしれませんが、皆さん熱心に耳を傾けてくれました。今後も対外活動の一環として、くすりに関連する健康出前講座の依頼があれば、積極的に薬剤科で対応していきたいと思っております。



## 地域医療連携センターからのお知らせ

### 【医師交替について】

整形外科の小林 甫医師は、9月30日付で退職となります。常勤医の交代要員はなく、当面のあいだ非常勤医師による診察になります。

### 【消化器内科へのご紹介について】

令和4年4月より、常勤医師の退職等により、**ポリープ切除目的(待機可能な症例)は現在お受けできません。また、診療時間内であっても、入院前提のご紹介も、内視鏡検査等の状況により、お受けできないこともありますので、必ず事前にご相談ください。**

地域の先生方にはご不便をおかけして、申し訳ございませんが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

### 【呼吸器内科へのご紹介について】

現在新型コロナウイルス感染症の患者対応等により、予約外で来院された方で緊急性がない症例については、総合内科の診察または改めて予約の取り直しになることがあります。

また、胸部 X 線異常陰影については、

総合内科・佐々木真一医師(日本呼吸器学会専門医) ⇒ 水曜日

呼吸器外科・三浦弘之医師(同指導医・専門医) ⇒ 月曜日、木曜日

の診療日でも対応可能です。

### 【地域医療連携センターの人員体制について】

本年度も医療相談機能の充実化をひとつの目標と掲げ、現在6名(再任用2名)の体制としています。

退院支援看護師と共同し、急性期病院から療養型病院や高齢者施設へのスムーズな転院調整を、進めて参ります。

また、外来患者さんからのご相談にも対応できるよう、1名を相談窓口専従とし、介護保険制度の説明、訪問診療、訪問看護のご紹介や相談等も積極的に承っております。

### 【オンライン面会について】

現在新型コロナウイルス感染症流行の影響で、入院患者さんの対面での面会は原則として禁止しております。(緩和ケア病棟除く)

そのため、自宅または当院医療相談室からオンライン面会を実施しております。

申し込みは各病棟で、当日の対応は地域医療連携センターで行っております。

患者さんやご家族の安心と患者サービスの点から今後も積極的に対応してまいります。

ご不明点については、地域医療連携センターまでお問い合わせください。